

日時	平成 29 年 5 月 17 日 (水) 18:30~20:00
場所	和歌山市 NPO・ボランティアサロン (寄合町)
参加メンバー (敬称略・順不同)	笹尾恭子 高垣晴夫 川島寛子 木下顕次 計 4 名
議案	<p>報告事項</p> <p>1、 寄付金に関する件・・・木下</p> <p>2、 お城のバリアフリーウォーク報告と今後について・・・笹尾 (4/14 (金) 開催・ビデオ編集未済)</p> <p>3、 (参考)以前に紹介した「車椅子ウォーカー」が、いよいよ 5 月末にみんなでつくるバリアフリーマップ「WheeLog!」がリリースされます</p> <p>WheeLog!に込められた思いや簡単なアプリの概要などを織田夫妻が語る動画。 https://www.youtube.com/watch?v=ewDAXskdMb8&feature=youtu.be</p>

【1】 故湯川一様より当会への寄付金にかかる贈与税 1,238,500 円を事務局から税務署へ振り込んだ。残金 3,761,500 円。

【2】 平成 29 年 4 月 14 日 13 時より和歌山城で笹尾さん自らの電動車いすでおもてなし忍者おすすめのお城周遊コースを体験する。

(和歌山歴史館→堀沿い→一の橋→伏虎像→岡口門→表坂)

JINNRIKI を装備した車イスに乗り換えておもてなし忍者による登城サポートを体験。

(表坂→松の丸→天守閣前広場→松の丸→表坂)

再度、笹尾さん自身の電動車いすで元のコースでわかやま歴史館に戻る。

(事務局が当日の動画等の USB と 3 月県体での動画を間違っ持参したため口頭説明になりました)

【体験者笹尾さんが気づいたこと】

- ①わかやま歴史館のエレベーターが狭くて乗り降りのスペースが取られていないので高度な運転技術が必要。2 階エレベーターのフロアが狭く受付前に置いてあるポールが車イスの妨げになる。
 - ②一の橋は傾斜がきつくて介助者がいないと危険。
 - ③砂利道の一部を舗装してくれているのだが、でこぼこになってきているので直進しづらい。
 - ④紅葉溪を見れる場所に行こうとすると大きな石がでこぼこで危険。
 - ⑤バスの駐車場のトイレはストッパーが甘く扉が戻ってくるので危険。
- 岡口門近くのトイレはドアがアコーディオンカーテンで開閉しにくいし、通路からトイレへのアプローチの段差が狭く入りにくい。
- ⑥やはり、各名所に音声ガイドがあれば嬉しい。
 - ⑦天守閣券売所から楠門までの階段に手すりがほしい。

【どう改善していくか】

- ①周遊コースを動画に撮ってどう活用するか
→●当会メンバーでの改善点・問題点の共有。

- 発信していくことでこの活動を広めていく。
- 来城する方に向けての車椅子おすすめ周遊コースを作る。

→動画編集は鈴木先生の返事待ち

②改善点の中から

- 行政がやるべきこと
- 改善が無理と思われること
- 改善可能と思われること

等を検討した結果、私たちが改善可能と思われることに関して市の考えを尋ねてみる。

→川島が聞くことに。

【次回の定例会議は】、

6月28日（水）18：30～ 市NPO・ボランティアサロン 会議室Dです。

以上